

新・奥の細道

米沢北ルート

②

先人が歩いた信仰のみち

Senjin-ga-aruita-shinko-no-miti



山形県

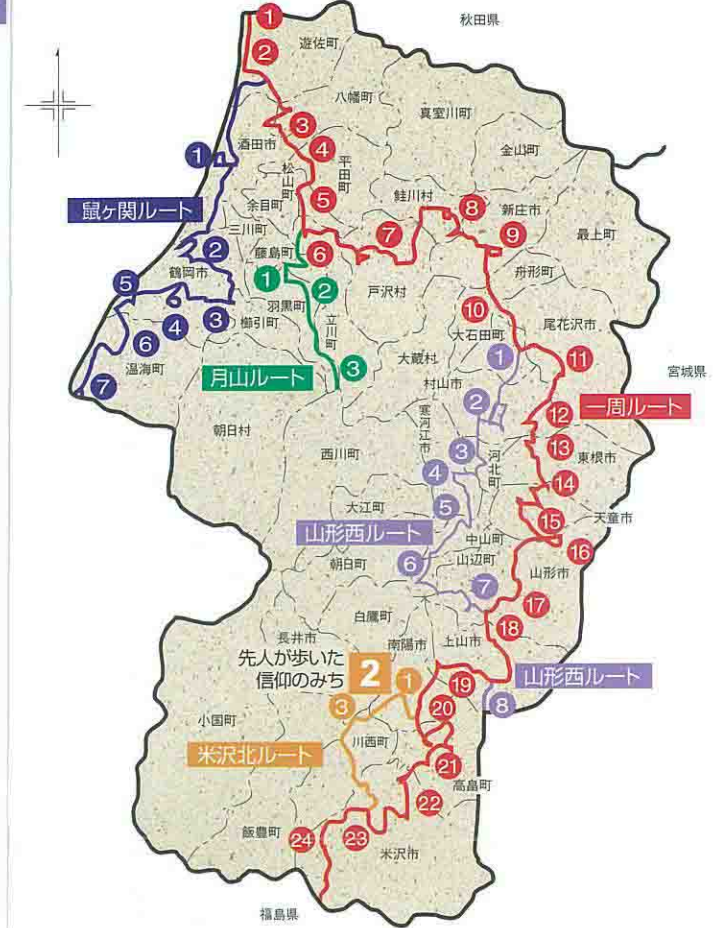
GUIDE

みどころ案内

かつては鶴が舞っていたと伝えられる南陽市羽付を起点とし、そこから金比羅毘沙門天をまつる梨郷神社へ向かいます。その周辺には、県内最古のものなど多数の板碑があり、先人の信仰の深さがうかがわれます。さらにそこから西へと進み、渡れば幸せが来るという幸来橋を渡り川西町へと入ります。ここからは田園の中に寺社が点在する風景をながめ、また、由緒ある「牛谷家の門」などをめぐり終点菊田橋へ至ります。

YAMAGATA MAP

東北自然歩道(新・奥の細道)ルート図



梨郷神社

Ringo-jinja

古い歴史を物語るように周囲を杉林に囲れた古社です。金比羅毘沙門天がまつられており、内陸の神社としては珍しく航海の安全に御利益があるといわれています。そのためか県外からの参拝客が多くなっています。



梨郷神社

幸来橋

Kourai-bashi

山形と新潟を結ぶ国道113号の最上川に架かる橋です。明治20年に木橋が架けられ「幸せが来る」という名は一般募集によって名付けられました。その後、昭和初期にコンクリートに架け替えられ、昭和46年に改良され現在の橋(214.1m)となりました。



牛谷家の門

Ushiyake-no-mon

牛谷家の門は、大津加因幡守の居城大塚館(城)の大手門であったといわれ、大塚氏が伊達氏に従って仙台に移った後の貞享3年(1686年)、牛谷氏が現在のところに移築したと伝えられています。



大日板碑

Daini-itchi

梨郷神社のすぐ南側にある「正元・元年・大日板碑」は、県内最古の板碑といわれ、鎌倉時代中期の正元・元年(1259)に建てられたものです。材質は凝灰岩で典型的な置賜(この地方)型板碑です。また、1kmほど先に「嘉暦二年・大日板碑」があります。これはその昔この地にあった円行寺の境内にあったもので、鎌倉時代末期の嘉暦二年(1327)年に建てられた凝灰岩製の板碑です。



正元元年大日板碑



嘉暦二年大日板碑

増田摂津守の墓(本覚寺)

Masudano-settunokamino-haka(honkakuji)

本覚寺の境内には、この寺と深い関わりを持つ「増田摂津守の墓」があります。増田摂津守藤原興隆は伊達氏数代に渡って仕え、伊達郡(現在の福島県)や羽前(現在の山形県)に領地を賜っていました。また、興隆の妻は伊達政宗の乳母で、興隆の子宗繁は乳兄弟の関係にありました。



増田摂津守の墓

赤坂八幡神社

Akasakahatiman-jinja

いつ頃の創建か正確にはわかりませんが、言い伝えによると康平年間(1058~1064)に源義家が、前九年の役の際、この地に陣を備え、その戦勝を祈願するために、赤坂に社殿を造営し京都の石清水八幡宮から勧請したのが始まりと伝えられています。



※勧請…他の神社から分霊して、まつること。
※前九年の役…源頼義、義家父子が奥羽の豪族安倍頼時らを平定した戦い。

“新・奥の細道”とは

自分の足でゆっくり歩きながら、森や川、野鳥や虫など豊かな自然にふれあい、また、その地域の特徴ある文化や歴史と親しむためのみちです。“新・奥の細道”は正式には東北自然歩道といえます。この自然歩道は、一日で歩ける程度の遊歩道を1つのコースとして、コースの間をバスなどでつなぎながら東北を一周する長距離自然歩道です。そして、この道は福島県白河を起点とし、宮城、岩手、青森、秋田、山形の順で経由して福島県郡山に至るルートになっています。

また、この“新・奥の細道”は東北を一周するルートの他に、景観の優れた地域や名勝地等に向かうルートがあります。県内でも、月山ルート・鼠ヶ関ルートなど4つのルートがあり、山形県内のルートをあわせた総延長は45コースで469Kmとなっています。

この“新・奥の細道”を楽しむために

- 1.コースのみどころ、地形、距離をあらかじめ調べて、余裕のある日程を組みましょう。
 - 2.歩きやすい服装で、荷物は最小限にとどめましょう。
 - 3.天気予報に注意して、天気のいい日を選んでゆっくり歩きましょう。
- この3つを守り、友人と、家族と、さあ出発!

おねがい

- ・ゴミは捨てないで持ち帰りましょう。
 - ・たばこの投げ捨てや、山火事には十分注意しましょう。
 - ・案内板や休憩所はみんなのもので、大切にしましょう。
 - ・美しい自然は、人間だけのものではありません。草花や虫たち、小鳥たちのためにも自然を汚さないようにしましょう。
- そして、美しい自然を後世まで伝えていきましょう。

このみちは、年金積立金還元融資を受けてつくられました。

周辺のアクセスガイド

川西町菊田橋までは、米沢駅からJR米坂線で今泉駅まで30分、そこから徒歩10分。
南陽市羽付(羽付バス停)までは、赤湯駅からフラワー長井線でおりはた駅まで15分、そこから徒歩20分。



観光・宿泊のお問合せ	南陽市総合観光物産センター 〒999-22 南陽市郡山番外地 川西町商工観光課 〒999-01 川西町大字上小松1567	☎0238-40-2002 ☎0238-42-2111
交通のお問合せ	JR赤湯駅 〒999-22 南陽市郡山番外地 川西町企画課 〒999-01 川西町大字上小松1567	☎0238-43-2009 ☎0238-42-2111
コースのお問合せ	南陽市商工観光課 〒999-22 南陽市三間通436-1 川西町企画課 〒999-01 川西町大字上小松1567 山形県環境保護課 〒990-70 山形市松波2-8-1	☎0238-40-3211 ☎0238-42-2111 ☎0236-30-2206

表紙の写真は赤坂八幡神社